

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若手経営者と若者がつながる新しいコミュニティ創出事業	
事業主体 (連絡先)	松本商工会議所青年部	
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	767,020 円	(うち支援金： 443,000 円)

事業内容

「はたらくってなんなんだろう会議」
 働くことについて自由に話し合う座談会を実施。全6回、
 合計参加人数：学生170名、社会人93名。
 第1回：信州大学、第2回：信州大学、第3回：未来ビ
 ジネスカレッジ、第4回：東城公民館、第5回：松本商
 工会館、第6回：松本商工会館（大会議）
 「信州松本 REinnovation（学生が考えるビジネスアイ
 デアコンテスト）」
 学生主催による市民参加型のビジネスアイデアコンテ
 ストの実施。合計参加人数：学生65名、社会人55名。
 Mウィングにて、学生が企画・運営するコンテストを開
 催。学生の地域振興アイデアを審査員だけでなく観客も
 一緒に評価・助言するコンテストを実施。



【上：大会議・下：ビジコン】

【目標・ねらい】

- ① 学生と社会人の交流・相互理解
- ② 街に学生の居場所を作る
- ③ 学生が地元企業に関心を持つ
ことで就職定住を促す

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 学生が、就職ではなく働く事自体について、多くの社会人と対等に話し合い、リアルな価値観や考え方を通して地域理解を与えることが出来ました。
- ② 学生実行委員会を組織することで、学生が自発的に街に交流していける環境が出来き、街に学生と社会人とのコミュニティが生まれました。
- ③ ②のコミュニティに松本で働く様々な社会人（経営者、人事担当、個人事業主、サラリーマン、専門職など）が参加した結果、就職説明会などでは得ることができない地元の繋がりが生まれました。

※自己評価【A】

【理由】
 多くの学生と社会人を巻き込みコミュニティの形成ができた。学生実行委員会も設立され、自走する体制を確立できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「はたらくってなんなんだろう会議」は、学生実行委員会の主催により継続運営されていきます。この事業を続けていく事により、学生が街に関わり続け、その先に松本に就職・定住する学生が増加することを期待しています。ビジネスアイデアコンテストは松本商工会議所青年部の事業として継続していく事を検討しております。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある